



大切な人と「今」を大切に暮らす 在宅医療という選択

川見聡さん・八千代さん

在宅医療という選択

皆さんは在宅医療にどのようなイメージをもっていますか？今回、取材したのは、藤沢市内の自宅で、日常的に医療的ケアを受けながら暮らすご夫婦です。「もう最後かも」という言葉を何度も越えて今がある、クローン病やパーキンソン病を患う川見聡さんと、奥様の八千代さん。2020年10月から体調の悪化を繰り返しているため、在宅での生活に葛藤もありました。けれど入院中、聡さんが最初に話した言葉は「うちに帰りたい」。病院が嫌だから家に帰る、ではなく、声が届く近さに大切な人がいて、ただ呼んだだけと何気ない会話ができること。お二人にとって、大切にしている「今」は何なのか、お話を伺いました。

働きながら、在宅医療？

在宅医療というと、家族一丸となり、誰かしらが必ず家の中にいて介護にあたるような印象があります。奥様の八千代さんは、聡さんの希望もあり、週5日の仕事を継続しながら、訪問看護とヘルパーを利用し在宅での生活を進めています。「職場の理解もあり、支えてくれる方々に恵まれ、今の暮らしが叶っています。本当に感謝です。」八千代さんから、今は昔と少し変わり、家族がつききりの在宅医療ではないことを教えてもらいました。

「おーい」と呼べる距離にあなたがいる

「働いているのだからこうしなきゃと、完璧な介護を大事にしていた時期もありました。最近は、ご飯も食わずに、ずっと夜までベッドの上で向かい合って、二人で話してしまうこともあるんです」と笑う、八千代さん。二人の時間を大切にするとはいったい何でしょうか？言葉だけではなく、お二人の関係性から「一緒に暮らす」とは何なのかを気づかせてもらいます。家が、ただの「自宅」ではなく、「大切な人が近くにいる場所」であることを知ることができます。



「おふたりの写真を撮らせてください」と言った瞬間に、腕を大きくあげて、八千代さんを抱き寄せた聡さん。

Interview

▶詳しくは、サイト内の記事へ。

「おーい」と呼べる距離にあなたがいる、在宅医療（川見聡さん・八千代さん）
[No.021]



医療的ケア？クローン病？専門用語を解説した記事もご用意しました。合わせてご覧ください♪

【専門用語説明】「おーい」と呼べる距離にあなたがいる、在宅医療



激しさの中にある スピード感が たまらなく楽しい！

車いすラグビー日本代表
若山英史選手



東京パラリンピックでも、銅メダルを獲得した日本代表チーム！
2019年9月に開催された藤沢市主催のイベント「Fujisawaラグビー day」のご縁から、ローポインターとして活躍する若山英史選手を、障がいのアナでも取材させていただきました。

ガシャン！と激しくぶつかり合う音、ビックリするほどの衝撃、激しいコンタクトプレーと時間調整を考えつつ行う緻密なプレー。若山選手の人生を豊かにした車いすラグビーについて伺っています。勝敗へのこだわりの、車いすラグビーを楽しむことを忘れない、若山選手のマインドセットについてもお聞きしました。

Interview

▶詳しくは、サイト内の記事へ。

激しく、楽しく、仲間とともに

(車いすラグビー若山英史選手) [No.019]



特別支援学校でバリ舞踊 一人ひとりのもつ 「文化」との出会い

basundhari (バスンダリ)
長谷川亜美さん・伊藤素美さん



藤沢を中心に活動するバリ舞踊のグループ「basundhari (バスンダリ)」。ガムランと呼ばれるバリの音楽や踊りを皆さんの前で披露します。バスンダリの皆さんが活躍するのはステージの上だけではなくありません。特別支援学校の依頼から始まった、障がいのある子たちに送る、年に一度の国際文化交流カリキュラム。生徒さんたちにとっても、バスンダリの皆さんにとっても、新しい文化に出会う貴重な時間になっています。異国の文化に触れること、一人ひとりのもつ価値観や文化に触れること、それはどこか通ずるものがあると感じました。

Interview

▶詳しくは、サイト内の記事へ。

新しい文化に出会う、特別支援学校でバリの踊りを

(バスンダリ 長谷川亜美さん・伊藤素美さん) [No.020]



昨年度に引き続き、「藤沢市ミライカナエル活動サポート事業」に申請し、「ステップアップ支援コース」に採択していただきました。今後の活動の基盤を固めるために「障がいのアナWEBサイト改革」を展開していきます。アンケートでいただいたご意見を参考に、サイトをリニューアルしていきます。

目指す姿は、たくさんの記事があり、誰にとっても見やすく、読みやすく、検索しやすいサイト。今後、実際に見やすくなっているのか？使いやすくなっているのか？などの調査も行っていますので、ご協力をお願いします！

▶詳しくは、サイト内の記事へ。



取材させていただきます！取材先大募集！！

みなさまの想いを大切に、丁寧に取材させていただきます。
記事を通して、その想いを多くの方の心へ柔らかく届けます。
ご連絡をお待ちしています！

障がいのアナ サイト内の
「お問い合わせ / 取材依頼」より
ご連絡ください

インタビュー内容をメールで送付します

詳細をお伺いします (対面 or オンライン)

記事を作成し完成後、ご連絡します

オンラインでの取材も
可能です



公式LINEアカウント

最新情報をいち早くお届けし
ぜひご登録ください！

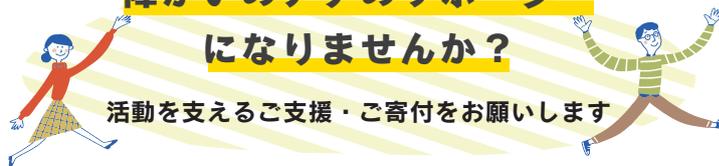


@shogai_ana

友だち追加は
こちらからどうぞ！

障がいのアナのサポーター になりませんか？

活動を支えるご支援・ご寄付をお願いします



私たちの活動を、いつも応援くださり、ありがとうございます。
障がいのアナは、藤沢市を中心に「障がい」「福祉」の情報を発信し、
社会の壁にアナをあけることを目標に活動しています。今後、読者の方を対象にした交流会や、「アナをあける」イベント、ワークショップの開催も企画しています。サポーター限定の特典もご用意！みなさまのご支援・ご寄付を大切に、今後も活動してまいります！

ご支援・ご寄付の例

- 500円からの寄付・マンスリー寄付で応援
- SNSで拡散 ●会話の話題にする
- チラシ・カードを置く など

＼ご寄付はこちらから！／

